

I.病院の概要

2020年4月～2021年3月

1. 概要

■名称

医療生協さいたま生活協同組合 埼玉協同病院

■所在地

埼玉県川口市木曾呂1317(〒333-0831)

TEL:0570-00-4771

FAX:048-296-7182

ホームページ:http://kyoudou-hp.com/

■開設年月日 1978年4月1日

■2020年度実績(全体)

外来延患者数	235,161人
1日平均外来患者数	833.9人
救急搬送受入れ件数	3,422件
新入院患者数	7,648人
在院患者延数	103,496人
平均在院日数(一般)	10.7日
病床稼働率(一般)	69.6%
紹介患者率	23.2%
逆紹介患者率	30.2%

■標榜科

内科	リハビリテーション科
循環器内科	病理診断科
呼吸器内科	リウマチ科
消化器内科	臨床検査科
緩和ケア科	腎臓内科
神経内科	血液内科
小児科	糖尿病内科
外科	救急科
呼吸器外科	泌尿器科(人工透析)
消化器外科	緩和ケア外科
乳腺外科	
整形外科	
脳神経外科	
産婦人科	◇専門外来
泌尿器科	被ばく相談外来
皮膚科	禁煙外来
眼科	在宅医療
耳鼻咽喉科	
精神科	
放射線科	
麻酔科	

■病床数 399床

病棟	病床数	診療科等
C2	60	消化器内科、一般内科、耳鼻咽喉科
C3	40	産婦人科
C31	13	小児科
C4	24	(緩和ケア病棟)
C5	50	呼吸器内科、泌尿器科、糖尿病内科
D2	57	整形外科
D3	55	外科、整形外科
D4	46	循環器内科、腎臓内科、総合内科、眼科
HCU	4	
D5	50	(回復期リハビリ病棟)

■職員数 1,146名

職種	常勤・嘱託	非常勤
医師	60	170
研修医(初期・後期)	16	-
看護師	216	89
助産師	23	8
保健師	44	5
准看護師	4	11
看護サポート	7	39
薬剤師	27	1
臨床検査技師	25	6
理学療法士	31	-
作業療法士	21	-
言語聴覚士	7	-
視能訓練士	2	1
歯科衛生士	2	-
診療放射線技師	25	1
臨床工学技士	13	-
管理栄養士	11	4
栄養士	1	-
調理師	11	3
調理員	-	24
介護福祉士	10	-
事務総合職	85	119
保育士	4	12
技師・助手	-	8
計	645	501

(2021年3月末日現在)

2. 組織機構図

3. 2020年度埼玉協同病院スコアカード

ミッション	人を人として尊重し(人が人として尊重される)、地域包括ケア時代に輝く急性期病院になる～病院のリニューアルを成功させる(準備する)～
ビジョン	①救急医療・がん診療を軸に急性期病院としての機能と質を高める。 ②総合性と専門性を備えた医療専門職が集い、育つ病院になる。 ③ヘルスリテラシーを高める活動とともに、健康の社会的決定要因(SDH)の視点を日常診療にいかした生活支援を行う。 ④4つのセンターを中心に、各医療チームの活動が発展する組織運営を行う

	戦略目標	重要成功要因	評価指標
強い医療生協を作る視点(F)	本院リニューアル・第2病院建設を成功させるために、黒字経営を進める。	予算を達成し、剰余を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・経常剰余 ・入院数(一般病棟) ・D5病棟運営指標(占床率/平均在院日数) ・DPC(Ⅰ)(Ⅱ)の期間までの退院割合 ・手術件数 ・紹介率 ・逆紹介率 ・救急医療管理加算の算定数 ・薬剤総合評価調整加算の算定数 ・栄養情報提供加算の算定数
利用者の要望の視点(C)	人生のどのようなステージでも様々な不安や悩みを解決し、住み慣れたまちで最後まで生活し続ける。	病院のリニューアル、新病院建設を機会に、地域の健康づくりを活性化させ、新しいつながりをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・救急車要請お断り件数 ・保健師が実施した保健予防活動 ・ACP・人生会議・私の優先したいこと等活用した学習開催数/満足度 ・健康らいぶらりでのミニ公開講座開催数/満足度 ・建設をテーマにした対話数 ・マイかるての満足度
確かな仕事づくりの視点(P)	地域の医療機関、施設と協同して、地域包括ケア時代にふさわしいスムーズな医療・介護連携を行う。	「働き方改革」に見合った業務の見直しをすすめると同時に、多職種構成のチーム医療を展開し、患者の問題を解決できる支援をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内事業所からの紹介患者数 ・地域事業所との連携会議と実践活動 ・クリパス適応率 ・カンファレンス記録に記載されているプランと実践の評価 ・退院後に活かせる情報提供を行った満足度 ・入院中に食事が十分に食べられた、我慢しなくて良いという満足度 ・医師とのコミュニケーションを促進した満足度 ・身体抑制率 ・医療の質の目標 ・超勤削減 ・有給取得率
育ちあいの視点(E)	リニューアル、新病院開設に向けた、職員確保と育成を進める。	お互いの仕事を理解しあい、多職種連携の力を強める。	<ul style="list-style-type: none"> ・総会学習の取り組み ・中堅層参加の研修効果 ・救急に対応する職能ごとの訓練回数と効果 ・医療の達成度に関する満足度
社会貢献の視点	災害対策。	頻発する自然災害に対応できるよう備える。	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応訓練の数/参加人数 ・地域とともに実施した訓練の数



評価指標の定義と算出部門	2019年度現状値	2020年度目標値
経営月報	累計162,973千円	累計137,932千円
経営月報	685件	720件
経営月報	94.3%、54.8日	95%以上、52日以下
経営月報	72.60%	75%
経営月報	225件	230件以上
総合サポートセンター	21.05%	40%以上
総合サポートセンター	28.30%	30%以上
経営月報	月平均886件	月平均950件超
薬剤科	月平均16件	月平均30件
食養科	2020年度初指標	月45件以上
救急診療委員会	2,268件	2000件を下回る
健康増進C会議	315(特定保健指導件数)	315件
QMセンター＋総合サポートセンター	2020年度新指標	
HPH推進センター	3回	7回
建設事務局会議	総会3回実施	総会含め7回
QMセンター	2020年度新指標	80%
総合サポートセンター		
総合サポートセンター	25件	
クリパス委員会	47.10%	48%
QMセンター		
退院患者満足度調査	79.20%	80%超
退院患者満足度調査	65.90%	
外来患者満足度調査	91%	91%超
認知症ケアチーム	24%	20%以下
労働安全衛生委員会 (取得日数/取得しなければならない日数)		
教育研修センター		
教育研修センター		
救急診療委員会＋防災対策委員会		
QMセンター		
防災対策委員会		
防災対策委員会		

4. 2020年度 医療経営統計等

(1)入院医療(月平均値・診療実日数31日)

※期間:2020年4月～2021年3月

	実働病床数	入院数	退院数	延べ患者数	平均 在院日数	稼働率	日当点
一般病床	325床	611人	593人	6,223人	10.5日	69.6%	7,230点
回復期リハビリ病棟	50床	11人	23人	1,406人	55.4日	93.8%	3,829点
緩和ケア病床	24床	15人	22人	357人	16.0日	51.8%	5,400点

(2)外来医療(月平均・実績実日数24日)

新患者数	647人
延べ患者数	19,597人
一日当患者数	834人
日当点	1,292点
組合員利用率	89.0%

(3)救急搬入患者数(月平均)

救急搬入患者数	285
(要請数)	519
(受入率)	54.8%
(入院数)	105

(4)健康診断

(単位:人)

各種健康診断	健康づくり健診	186
	特定健診	2,874
	被爆者健診	29
	国保ドック	1,833
	その他のドック	738
	じん肺健診	120
	事業所健診	9,055
	協会けんぽ	6,039
	職員健診	998
	その他	4,545
合計		25,419
オプション	胃がん	9,830
	大腸がん	14,713
	子宮がん	4,937
	乳がん	4,885
	腹部エコー	3,731
	骨粗鬆症	453
	前立腺がん	773
	胸部CT	145
	腹部CT	17
	頸動脈エコー	300

※オプションは各種健康診断と重複する場合があります

(5)在宅医療(月平均)

往診件数	51
往診 延べ回数	66

(6)透析

年間透析件数	1,144件
新規透析導入数	44人
外来透析管理延べ患者数	755人
入院透析管理延べ患者数	393人

(7)化学療法

(単位:人)

外来患者実人数	217
外来延べ患者数	2,064
がん薬物療法(点滴)実施実人数	167

(8)手術実績

(単位:件)

手術総件数	2,704
(全身麻酔手術数)	(2,051)
外科	693
整形外科	1,482
産婦人科	285
眼科	158
腎臓内科(透析)	76
耳鼻咽喉科	63

(9)薬剤(月平均)

(単位:枚)

外来 処方箋枚数	238
調剤数	395
入院 処方箋枚数	4,302
調剤数	10,306

(10)検査

(単位:件)

尿一般	36,872
生化学	65,213
心電図	12,188
トレッドミル	82
ホルター心電図	640
心エコー	3,283
頸動脈エコー	1,284
甲状腺エコー	236
下肢エコー	326
耳鼻科領域検査	2,209
肺機能検査	250
眼底検査	143
病理	
婦人科細胞診	4,883
一般細胞診	1,925
生検材料組織	2,782
手術材料組織	773
細菌	
一般細菌培養	24,808
抗酸菌培養	2,927

(12)放射線

(単位:件)

一般撮影	44,015
ポータブル撮影	10,496
乳房X線撮影	2,354
骨塩定量測定	1,493
CT	17,876
MRI	7,205
X線TV	2,437
血管造影	474
超音波	5,644

(13)リハビリテーション

(単位:人)

脳血管リハビリ	28,749
廃用症候群リハビリ	19,369
運動器リハビリ	34,008
呼吸器リハビリ	5,792
がんのリハビリ	680

(14)食養科

患者給食数	250,054
特別職	100,711
食事相談 外来	2,229
入院	2,566

(11)細胞診

①細胞診の内訳(子宮頸部除く)

(単位:件)

	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	計
婦人科(子宮頸部を除く)	1,732	39	11	29	1,811
呼吸器	262	28	32	53	375
消化器	55	23	12	17	107
泌尿器	817	58	13	1	889
乳腺	61	11	3	30	105
甲状腺	39	5	0	3	47
体腔液	210	23	36	0	269
リンパ節	41	8	15	3	67
その他	100	7	29	2	138
計	3,317	202	151	138	3,808

②子宮頸部

(単位:件)

NILM	2,637	HSIL	50	AIS	0
ASC-US	216	AGC	16	Other malig	0
ASC-H	41	SCC	4	検体不適	0
LSIL	105	Adenocarcinoma	2	合計	3,071

(15)医療相談 (単位:件)

相談延べ件数	23,551
(うち新規相談数)	(8,828)
無料低額診療事業	
相談	79
申請	52

(18)紹介・逆紹介 (単位:人)

紹介受入患者総数	8,016
(うち初診患者数)	(4,221)
紹介先数	1,216
紹介率	23.2%
逆紹介率	30.2%

(16)医師事務作業補助 (単位:件)

診断書	192
健康診断書	100
身障診断書	154
医学的意見書	46
自立支援診断書	110
指定難病診断書	60
障害年金診断書	75
休業補償	198
傷病手当・見舞金	729
入院証明書	2,655
後遺症診断書	17
証明書(事務証明)	359
療養費同意書	131
主治医意見書	1,151
訪問看護指示書	1,757
生活保護関係意見書	1,895
その他書類	788
合計	10,417

(19)診療科別紹介受入 (単位:件)

診療科	紹介受入数
内科	1,291
夜間休日	179
救急	313
専門外来(内科)	761
循環器外来	165
消化器外来	286
糖尿病外来	149
呼吸器外来	77
腎外来	17
血液外来	21
神経内科外来	46
小児科	311
アレルギー外来	2
乳児検診	0
外科	307
産婦人科	539
整形外科	1,043
皮膚科	441
耳鼻咽喉科	261
眼科	146
脳神経外科	119
泌尿器科	281
精神神経科	51
麻酔科	13
化学療法	5
リハビリ科	21
緩和ケア内科	132
透析	16
在宅	7
健診後外来	187
検査(放射線科)	1,281
検査(生理検査+内視鏡)	309

(17)死亡数・剖検数 (単位:人)

入院患者	22
外来患者	6
訪問診療	
剖検数(外来死亡含)	0

5. 2020年度活動報告

1. 新型コロナウイルス感染症への対策と取り組み

(1) 2020年4月2日から発熱や風邪症状のある患者さんと通常の患者さんの受診経路を区分して、もしもの感染拡大を防ぐための予防的な措置として「発熱外来」を開始しました。県から支給された陰圧テントを救急車搬送入口の向かいに設置し、その後、陰圧テントを撤収し順次計3棟のプレハブを設置しました。4月27日からは、正面玄関の開錠時刻を7時から8時に変更させていただき、朝早くから待合室で風邪症状の患者さんが、お待ちになることがないようにしました。10月から新たに大型の検温モニターを2台設置しました。「緊急事態宣言」の発出に伴い、レストラン虹の森の営業も4月6日から休止とさせていただきます。7月13日再開後も収容人数を制限し、感染予防策を整備してきました。発熱外来は、11月から「診療・検査医療機関」として埼玉県指定を受けました。

医療用マスク等の衛生材料・感染防護具の供給不足の中職員は、患者さんに直接接する診療場面とそれ以外での使用頻度等を変えたり、交換のタイミングを見直したりして、使用量をコントロールするとともに必要な予防策は積極的に講じるように徹底し、毎日の検温と健康状態を報告するようにしました。報道などで窮状を知った患者さん、職員家族、地域の町会や諸団体、企業から様々な寄付をいただき支えていただきました。業務用ビニールシートで手作りのガウンを製作してくれた医療生協の組合員さんには大変励まされました。本部の職員も総出でビニールエプロンの製作を行いました。

外来の各受付では、ビニールカーテンでシールドを設置し、感染予防のため毎日2回アルコール消毒での清拭が新たな日常業務となりました。入院患者への面会が原則禁止となる中、6月22日よりオンライン面会を始めました。さらに、5月25日から入院前PCR検査の対象を順次広げて対応してきました。9月14日からは抗原定量検査が院内で可能となり、緊急入院時にも実施できるようになりました。年度末には全自動核酸抽出増幅検査システムを導入し、院内でPCR検査が実施できるようになりました。

一般の健康診断は4月から6月にかけて中止となりました。年度後半には感染対策を施しながら予約枠を広げて受入をしましたが、2019年度の健診者数には遠く及びませんでした。

県内の感染症指定病院の満床状態を受けて、感染患者の入院受入を4月6日から開始しました。8月からは受入病棟を変更し、施設整備を図るとともにベッド数を拡大しました。

こうした中でも、8月に埼玉協同病院が主幹で南部地域感染防止対策地域連携の会、3月に感染防止対策地域個別カンファレンスをオンラインで開催しました。保健所と連携病院から多くの参加があり、新型コロナウイルス感染症に対する取り組みや保健所への質疑応答など意見交換や交流をすることができました。

12月には病院利用委員会で、『入院患者さんへ応援メッセージ』シートを作成し、総合サポートセンター入院受付前に貼り出しました。毎年、入院患者さんに向けた『癒やしのイベント』を開催していましたが、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の関係でイベントを開催できない為、予約入院でみえた患者さんへ応援メッセージをお伝えすることにしました。

2021年1月の新型コロナ第3波では入院患者と職員から複数の感染者が判明し、一定期間新規入院の受入を停止する措置を講じました。

3月9日から新型コロナワクチンの医療従事者優先接種が始まりました。準備チームを立ち上げ、多数の対象者に対して短期間に、安全、スムーズに接種をすすめるために、試行錯誤を繰り返してきました。2021年3月中に637名の職員の1回目の接種を実施しました。

年度末3月に2つの病棟で、ほぼ同時期に入院患者と職員に複数の感染が判明し、入院の受入を2週間停止し、感染対策をさらに徹底させることとなりました。幸いにもクラスターとはなりませんでした。PCR検査の結果を過信することなく、全ての人が無症状の感染者となる可能性を前提に感染対策を行うことの重要性を認識しました。

(2) 刻々変化する事態に対して、管理部と感染対策委員会の中心メンバーに本部担当役員も加わる感染対策会議を5月のゴールデンウィークの最中に始め、6月1日からは毎週2回、朝会前に開催し、情報共有と対策を検討してきました。また、関係部門と対策の中心となる複数医師が集まる拡大対策会議は月に2回開催してきました。ほぼ月に1回の頻度で、全職員向けに管理会議から「対応方針」を配信し(2020年3月30日第1号～2021年3月30日第13号)、病院内外の事態の情報共有と病院としての取り組み方針を周知しつつ、感染制御のための注意喚起を呼びかけてきました。また、7月、11月、3月に開催された病院マネジメントレビュー(合同役職者会議)では、新型コロナウイルス感染症対策について奮闘する職場の取り組みを共有するとともに、大きく影響を受けた経営状況について認識を深め、一方で病院リニューアルにむけた建設計画の進捗を共有しつつ部門での検討の進捗を図りました。

例年明け初日に開催してきた仕事始めの全体会は中止し、職場ごとに増田剛院長からのメッセージを撮影したVTRを視聴しました。院長からは新型コロナウイルス感染症に対する職員の感染対策への奮闘をねぎらうとともに、私たちの役割と今後の取り組みの中心課題について呼びかけがありました。

(3)感染拡大により、医療生協の組合員の活動も自粛を余儀なくされ、当たり前に取り組んできた健康ひろばや安心ルームが開催できずにフレイルの進行が心配されたことから、組合員活動課を中心に「新型コロナに負けるな！」プロジェクトが立ち上げられました。ホームページでオリジナルの体操動画が配信され毎日同じ時間に体操したり、「お元気ですか」の電話訪問など医療生協のつながりを意識した取り組みが広がりました。

また6月には、職員に「お米一合持ち寄り運動」が呼びかけられ、31職場から475合のお米が寄せられました。これは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で失業や休業を余儀なくされて「明日食べる食料がない」と相談に来られる方が増えていることに対応して、「フードドライブ・フードバンタリー」に取り組むためです。毎月、第4土曜日に定例化され、小さなお子様を抱えた20～30代の若い子育て世代の方や外国人など毎回20～40組のご家族に対し、百数十名分の食材を中心に日常生活用品、文房具、衣類などが配布されています。埼玉県少子政策課、子ども食堂ネットワーク購買生協、地元のスーパー、大手自動車会社、運送会社等様々な団体から食材の寄付があります。川口市の子ども部や保健センター、社会福祉協議会はチラシの配布にご協力いただきました。感染の状況次第で、組合員、職員の他、地区の民生委員、大学生などがボランティアとして20人ほどが参加しています。

また、2020年末にクリスマスツリーやサンタを模したカードにコメントを寄せ書きしたポスターが市内の複数の小学校から届けられました。川口市が取り組まれた「こだまプロジェクト」という医療従事者への感謝や励ましを届ける取り組みでした。職員に紹介するとともに、医師をはじめとする様々な職種の職員からお礼のメッセージを寄せ書きしたポスターを小中学校や市の教育委員会等にお届けしました。その後も、市内の小中学校から、引き続き激励のメッセージカードがたくさん貼られたポスターが続々と届いています。ありがとうございました。

2. 埼玉協同病院リニューアルと新しい病院建設にむけた取り組み

2020年7月25日に第4回埼玉協同病院建設委員会総会を開催しました。職員37名(埼玉協同病院34名、法人内事業所3名)、組合員27名の総勢64名の参加でした。コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前回1月の総会から半年ぶりの総会開催となりました。6月から実施している医師をはじめとした病院職員へのヒアリングを受けて検討されている基本設計案が紹介されました。

7月27日に開催した病院マネジメントレビュー(合同役職者会議)には113名が参加し、竹中工務店より全体の配置図を示しながら配置や用途、導線など「建設計画の進捗状況について」報告を受けるとともに今後のスケジュールを確認しました。また、事務局からこの間検討してきた二つの新病院の機能、受け入れ対象患者、診療科やベッド数を具体的に提示し、今後の検討課題について提起を受けました。

11月28日には第5回建設委員会総会を開催しました。職員32名、組合員23名、合計55名が参加し、建設計画の進捗状況、立て替えステップと今後のスケジュールについて、竹中工務店の説明を受けました。また、「第2病院(仮称)医療機能構想案」の外来・入院・在宅・健診機能について検討プロジェクトから報告を受け、それぞれの報告に対する質疑応答がありました。

3. 2020年度に始めた新取り組み

- (1)2020年8月1日から薬剤師による手術前の外来を始めました。手術を予定している患者さんに、薬の飲み合わせや同効薬重複の有無、休薬が必要な薬について指示が抜けていないか、患者さんが休薬する薬を把握しているかなどの確認を行い、更なる安心感に繋げることを目的としています。
- (2)9月に中央材料室の改修工事を行いました。手術件数が増えていることから、滅菌作業の受け入れ拡大と効率化を図るための各種滅菌機種の入替と設備の改修でした。
- (3)11月25日、倫理委員会主催で「医療従事者に求められるLGBTQの基礎知識」と題した学習会を開催しました。看護師の浅沼智也さんを講師に迎え、性の多様性について学びました。参加は61名(直接32名、オンライン29名)でした。今回はオンラインで他事業所の方にも視聴いただくことができました。また、2月15日には「ACP学習講演会」を開催しました。参加は合計122名でした。協同病院:41名(直接27名・オンライン14名)、協同病院以外:81名(直接5名・オンライン76名)でした。オンライン参加が75%となりました。
- (4)11月から毎月、障害年金相談に取り組みました。障害年金は申請手続きが煩雑であり、申請しても「非該当」になることもあり、ハードルが高い手続きの1つです。社会保険労務士から具体的な助言を得ながら、生活に支障をきたしている方々が適切に受給ができるように申請の準備を進めています。

6. 主要行事

■2020年

<4月>

1日	法人全体 新入職員入職式
2日	「発熱外来」開始
3日	埼玉協同病院 新入職員入職式
6日	緊急事態宣言発出のため組合員活動・企画中止
27日	がんゲノム医療①

<5月>

1日	メーデー集会中止
25日	新任リスクマネージャー研修会(27日、29日)

<6月>

6日	後期研修説明会
12日	卒2看護師スタートアップ集会
21日	休日当番医
22日	オンライン面会開始
28日	フードパントリー

<7月>

1日	看護師中途入職者技術研修
3日	看護職 新任副主任研修会
4日	中堅職員マネジメント研修会(前半)
25日	第4回埼玉協同病院建設委員会総会
27日	第1回病院マネジメントレビュー

<8月>

6日	原水爆禁止世界大会・広島デー(オンライン開催)
17日	SDHカンファレンス
24日	南部地域感染防止対策地域連携の会(オンライン開催)

<9月>

3日	がんワンストップ相談会
20日	休日当番医
26日	フードパントリー
30日	前期総合防災訓練

<10月>

3日	高校生看護模擬面接会①
14日	法人監事監査
24日	高校生看護模擬面接会②
28日	LGBT学習会
31日	フードパントリー

<11月>

1日	生活や仕事に困っている外国人のための相談会
25日	医療従事者に求められるLGBTQの基礎知識についての学習会
28日	第5回埼玉協同病院建設委員会総会
30日	第2回マネジメントレビュー

<12月>

2日	看護師 卒後4年目フォローアップ研修
12日	ICLS講習会
13日	休日当番医
21日	SDHカンファレンス
26日	フードパントリー

■2021年

<1月>

2日	休日当番医
8日	緊急事態宣言発出のため組合員活動・企画中止・延期
25日	がんゲノム医療②
30日	フードパントリー

<2月>

6日	第3回医療活動交流集会
7日	双葉町甲状腺エコー健診
10日	キャリアナース研修会
15日	SDHカンファレンス 倫理委員会学習会「人生の最終段階の医療とケアについて」
27日	障害年金相談
27日	フードパントリー

<3月>

1日	子ども予防接種週間(7日まで)
2日	がんワンストップ相談会
9日	新型コロナワクチン医療従事者優先接種開始
10日	「フクシマを忘れない！原発問題学習会」
13日	ICLS講習会
17日	感染防止対策地域個別カンファレンス(30日)
18日	薬薬連携の会
20日	休日当番医
22日	看護師 入職前研修
24日	八重洲監査法人監査(～26日)
29日	第3回マネジメントレビュー

7. 施設基準

■基本診療の施設基準

一般病棟入院基本料
 急性期一般入院料1
 ハイケアユニット入院医療管理料 I
 回復期リハビリテーション病棟入院料1
 緩和ケア病棟入院料2
 診療録管理体制加算1
 医師事務作業補助体制加算2 15対1
 急性期看護補助体制加算25対1 5割以上
 夜間急性期看護補助加算 100対1
 夜間看護補助体制加算
 看護職員夜間配置加算 16対1
 療養環境加算
 重傷者等療養病棟療養環境特別加算
 栄養サポートチーム加算
 医療安全対策加算 I
 地域連携加算1
 感染防止対策加算 I
 地域連携加算
 抗菌薬適正使用支援加算
 患者サポート体制充実加算
 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 ハイリスク妊娠管理加算
 ハイリスク分娩管理加算
 呼吸器ケアチーム加算
 後発医薬品使用体制加算 I
 病棟薬剤業務実施加算 I
 データ加算 2
 入退院支援加算 I
 総合評価加算
 入院時支援加算
 せん妄ハイリスク患者ケア加算
 地域医療体制確保加算

■特掲診療の施設基準

糖尿病合併症管理料
 がん性疼痛緩和指導管理料
 がん患者指導管理料イ・ロ
 がん患者指導管理料ハ
 がん患者指導管理料ニ
 糖尿病透析予防指導管理料
 乳腺炎重症化予防ケア指導料
 婦人科特定疾患治療管理料

院内トリアージ実施料
 夜間休日救急搬送医学管理料の注3に規定
 救急搬送看護体制加算1
 ニコチン依存症管理料
 療養・就労両立支援指導料の注2に規定する相談支援
 加算
 療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援
 加算
 開放型病院共同指導料
 地域連携診療計画退院時指導料
 肝炎インターフェロン治療計画料
 ハイリスク妊産婦連携指導料1
 ハイリスク妊産婦連携指導料2
 薬剤管理指導料
 医療機器安全管理料1
 在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問
 看護・指導料
 在宅酸素療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタ
 リング加算
 遠隔モニタリング(持続腸圧呼吸療法指導料)
 持続血糖測定器加算(シリンジポンプと連動しない測定
 器)
 遺伝学的検査
 BRCA1/2遺伝子検査
 先天性代謝異常症検査
 HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判
 定)
 検体検査管理加算(IV)
 時間内歩行試験およびシャトルウォーキングテスト
 皮下連続式グルコース測定
 コンタクトレンズ検査料 I
 小児食物アレルギー負荷検査
 センチネルリンパ節生検(片側)
 画像診断管理料 I
 画像診断管理料II
 遠隔画像診断
 CT撮影及びMRI撮影
 冠動脈CT撮影加算
 心臓MRI撮影加算
 CT透視下気管支鏡検査加算
 乳房MRI撮影加算
 小児鎮静下MRI撮影加算
 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
 外来化学療法加算 I
 無菌製剤処理料
 脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
 運動器リハビリテーション料(I)

呼吸器リハビリテーション料(I)
 がん患者リハビリテーション料
 集団コミュニケーション療法料
 精神科デイケア「小規模なもの」
 精神科ショートケア「小規模なもの」
 人工腎臓(慢性維持透析1)
 導入期加算1
 透析液水質確保加算及び慢性維持透析ろ過加算
 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
 骨移植術(自家培養軟骨移植術に限る)
 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
 乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1)
 穿婁閉鎖術等(内視鏡によるもの)
 ペースメーカー移植術・交換術
 大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
 バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
 肝管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除をとも
 なうもの)
 体外衝撃波胆石破砕術
 腹腔鏡下肝切除術
 体外衝撃波膵石破砕術
 腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
 体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
 胃婁造影術
 輸血管理料II
 輸血適正使用加算
 貯血式自己輸血管理体制加算
 人工肛門、人工膀胱造設術前処置加算
 麻酔管理料I
 麻酔管理料II

8. 教育研修施設等

■基本領域

基幹施設:内科、総合診療、麻酔科
 関連・連携施設:小児科、皮膚科、外科、整形外科、
 産婦人科、病理、リハビリテーション科

■サブスペシャリティ領域

日本糖尿病学会認定教育施設(2000.11.27)
 日本消化器内視鏡学会指導施設(2006.12.1)
 日本臨床細胞学会認定施設(2003.9.30)
 日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設(2000.12.1)
 日本がん治療認定医機構認定研修施設(2010.11.1)
 日本胆道学会指導施設(2014.4.1)
 日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設(2015.4.1)
 日本消化器病学会認定施設(2016.1.1)
 日本呼吸器学会認定施設(2016.12.9)
 日本脳卒中学会研修教育病院(2018.1.1)
 呼吸器外科専門医制度関連施設(2010.4.1)
 日本透析医学会専門医制度教育関連施設(2010.11.26)
 日本乳癌学会認定医専門医制度 関連施設(2013.1.1)
 日本消化器外科学会専門医制度関連施設(2013.4.1)
 日本肝臓学会専門医制度関連施設(2014.4.1)
 日本小児神経学会小児神経専門医研修関連施設
 (2014.10.5)
 日本循環器学会認定循環器専門医関連施設(2017.4.1)
 日本手外科学会関連施設(2016.7.1)
 日本在宅医学会認定専門医制度研修施設(2011.4.1)
 日本膵臓学会認定指導施設(2020.1.1)
 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設
 (2020.1.1)
 新家庭医療後期研修プログラム認定(2020.4.1)

※(認定年月日)

